

PRESS RELEASE

2023年5月17日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、「IIJ PC 展開支援ソリューション」において、 「Windows Autopilot」を活用したゼロタッチキッティングメニューを提供開始 --情シス部門のPC 展開業務の負荷を大幅に軽減、お客様側での Windows Autopilot 運用も支援--

当社は、クライアント PC の調達から展開、運用業務までを支援する「IIJ PC 展開支援ソリューション」において、マイクロソフトの「Windows Autopilot」を活用した新たな PC キッティングメニューを、本日より提供開始します。Windows Autopilot は、Windows デバイスの初期セットアップをクラウド経由で自動的に実施する、いわゆるゼロタッチキッティングツールで、新しい PC をネットワークに接続すると必要な設定やアプリケーションのインストールなどが自動で実施されます。併せて当社は、お客様自身での Windows Autopilot 運用もサポートし、お客様情報システム部門の PC 展開における業務負荷を大幅に軽減いたします。

昨年 11 月から提供を開始した IIJ PC 展開支援ソリューションは、PC の調達、キッティング、社内ネットワークへの参加、アプリケーションのインストール、現地設置までの一連の導入作業をワンストップで行うもので、近年の IT 人材不足などを背景に高い需要があり、すでに 100 件以上の引き合いをいただいています。

クライアント PC をユーザに展開する際、初期セットアップやアプリのインストールなど、ユーザがすぐに使える状態にするためのキッティング作業が必要になりますが、キッティングは 1 台ずつ手動で行うか、PC のマスターイメージを作成して各 PC にコピーするキッティング方式(クローニング)が主流です。しかし昨今、多くの企業でデジタル化が進み、SaaS などクラウドサービスの利用が増えるにつれて、利用デバイスや業務利用のアプリケーションは多様化し、部署毎、さらには社員毎に利用アプリや必要な設定が異なるなど、PC のキッティング作業は煩雑化しています。クローニング方式でも PC のマスターイメージの数が増え、その管理も限界に達しているといった状況も見られます。当社が昨年 10 月に実施した PC 管理業務に関するアンケート(*1)でも、大半の企業が未だに手動やクローニング方式でキッティング作業を行っており、情報システム部門におけるキッティング作業の業務負荷は非常に高いのが現状です。

そこで当社は IIJ PC 展開支援ソリューションのラインアップに、初期セットアップを自動化できる「Windows Autopilot」を活用したゼロタッチキッティングメニューを新たに追加いたします。

(*1) 2022 年 10 月 3 日～21 日に情シス部門を対象に IIJ が実施した、PC 管理業務に関するアンケート調査(別紙参照)。

詳細: <https://www.ij.ad.jp/svcsol/survey/202212/>

Windows Autopilot 概要

Windows Autopilot は、Windows デバイスの初期セットアップをクラウド経由で自動的に実施するツールです。あらかじめユーザのプロファイル情報とハードウェア情報をクラウド上に設定しておくことで、新しい PC をネットワークに接続した際に必要な設定やアプリケーションのインストールなどが自動で実施されるため、従来の手動やクローニングによるキッティングが不要になり、ユーザがログイン後すぐに利用を開始することが可能です。

一方、Windows Autopilot を利用するには、特定の Microsoft 365 ライセンスが必要になるのに加え、ユーザアカウントが Azure AD で管理されていることや、デバイス(PC)がエンドポイント管理サービスの

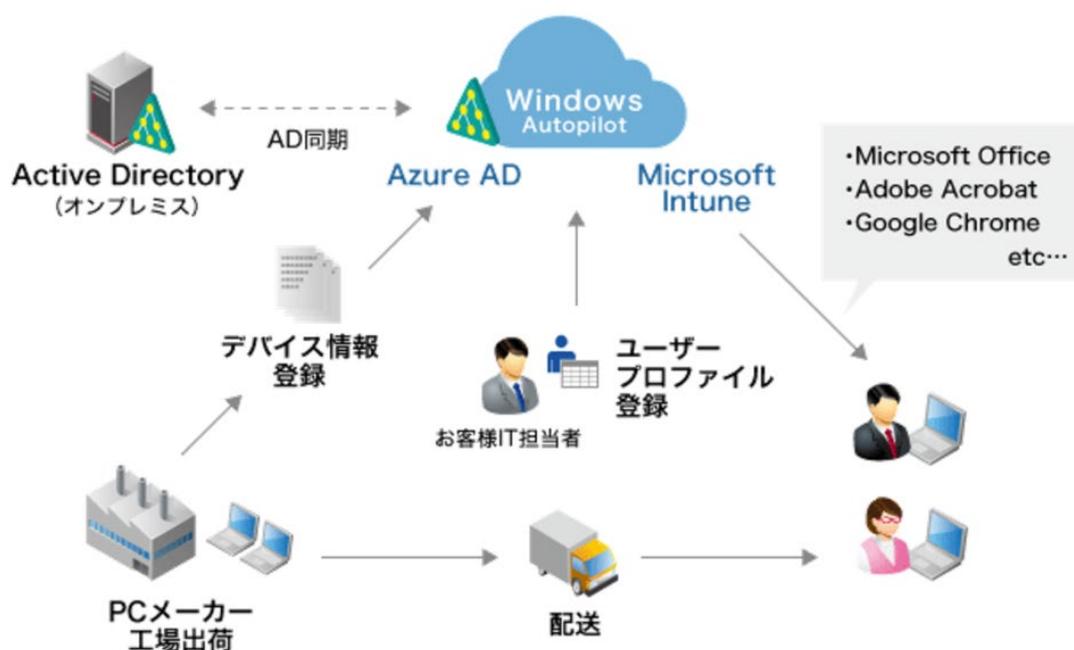
Microsoft Intune で管理されていることなど前提条件が様々あり、導入効果を最大化するための環境を構築するには相応のナレッジやノウハウが必要です。

IIJ PC 展開支援ソリューションでは、Microsoft 365 のライセンス提供から Azure AD の構築支援、Microsoft Intune でのデバイス管理運用のスタートアップ支援まで行い、Windows Autopilot を利用したゼロタッチキッティングの環境構築をワンストップで提供するとともに、さらに導入後の Windows Autopilot 運用までサポートいたします。

なお、Microsoft Intune でのデバイス管理については、昨年 9 月に提供開始した「IIJ EMM 活用支援ソリューション for Microsoft」(*2)を組み合わせ、Microsoft Intune における煩雑な構成プロファイルの設定やポリシーの最適化など、運用を支援します。

(*2)2022 年 9 月 29 日付報道発表資料「IIJ、Microsoft Intune の設定・運用を支援する「IIJ EMM 活用支援ソリューション for Microsoft」を提供開始」: <https://www.ij.ad.jp/news/pressrelease/2022/0929.html>

イメージ



➤ IIJ PC 展開支援ソリューションの詳細は <https://www.ij.ad.jp/biz/pc-sol/> をご覧ください。

当社は今後も、情報システム部門向けのサービスやソリューションを積極的に開発してまいります。

報道関係者お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL: 03-5205-6310 E-mail: press@ij.ad.jp

URL: <https://www.ij.ad.jp/>

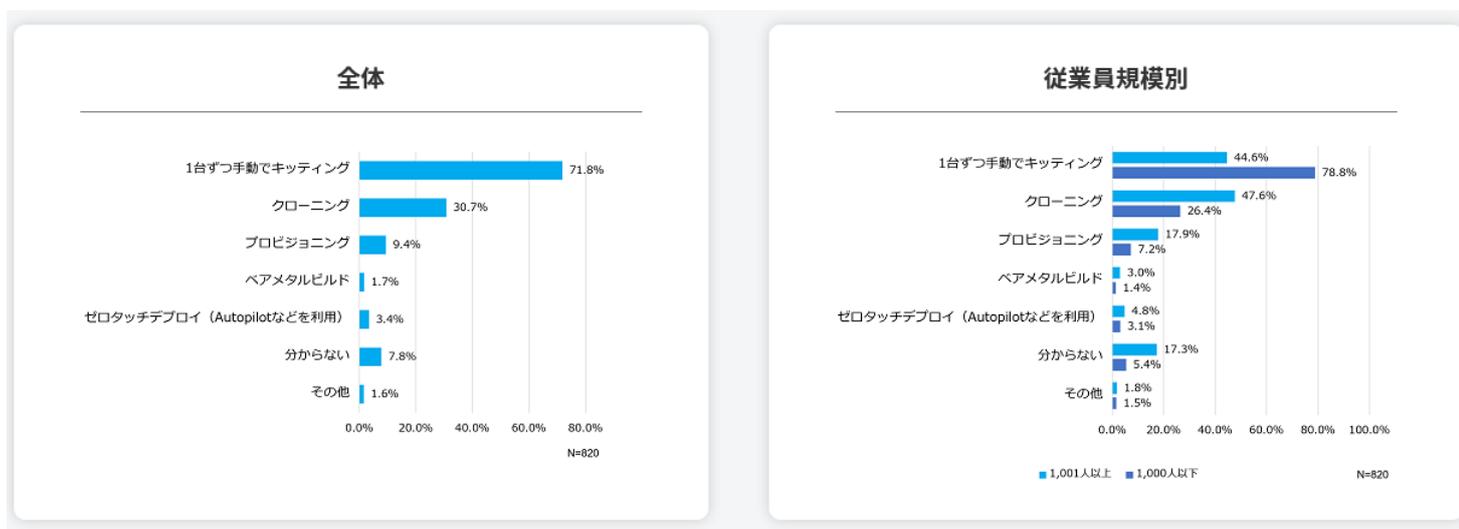
※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。

(別紙/参考情報)

PC 管理業務に関するアンケート

調査内容 PC 管理業務に関するアンケート調査
回答期間 2022 年 10 月 3 日～10 月 21 日
回答者 情シス向け IIJ メールマガジン (IIJ Biz Information) の読者で
クライアント PC 管理業務 (調達・キッティング・管理など) に携わる方
有効回答数 820 件

- PC キッティング作業で採用している方式 (複数選択)



- ・全体では「1 台ずつ手動でキッティング」が 71.8%でトップ。次いで「クローニング」(30.7%)、「プロビジョニング」(9.4%)。
- ・企業の従業員規模別では差が見られ、従業員数が 1,001 人以上の企業では「1 台ずつ手動でキッティング」と回答した率が 5 割以下まで下がり、代わりにクローニングやプロビジョニングを採用していることが分かる。

➤ 詳細は <https://www.ij.ad.jp/svcsol/survey/202212/> よりご覧いただけます。